



平成29年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年9月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 くらコーポレーション
 コード番号 2695 URL <http://www.kura-corpo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 津田 京一
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

TEL 072-493-6189

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第3四半期の連結業績（平成28年11月1日～平成29年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第3四半期	91,076	8.4	4,294	△12.3	4,973	△1.0	3,343	4.6
28年10月期第3四半期	84,015	8.6	4,897	13.0	5,022	4.7	3,197	6.1

(注) 包括利益 29年10月期第3四半期 3,517百万円 (13.0%) 28年10月期第3四半期 3,112百万円 (△1.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第3四半期	169.35	—
28年10月期第3四半期	161.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第3四半期	51,191	33,182	64.6
28年10月期	46,526	30,207	64.9

(参考) 自己資本 29年10月期第3四半期 33,092百万円 28年10月期 30,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	20.00	20.00
29年10月期	—	0.00	—	—	—
29年10月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年10月期の連結業績予想（平成28年11月1日～平成29年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,005	4.7	6,550	0.3	6,900	1.3	4,528	2.2	229.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社（社名）台湾國際藏壽司股份有限公司、除外 1社（社名）
 （注）詳細は、添付資料P6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年10月期3Q	20,699,800株	28年10月期	20,699,800株
② 期末自己株式数	29年10月期3Q	956,720株	28年10月期	956,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年10月期3Q	19,743,080株	28年10月期3Q	19,743,080株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年11月1日から平成29年7月31日)におけるわが国経済は、雇用環境の改善に伴う消費の拡大から緩やかな回復基調となりました。

外食産業におきましては、競合他社の積極的な出店による影響に加え、労働需給ひっ迫に伴う人件費の上昇など、引き続き厳しい環境が続いております。

当社グループは、新鮮でおいしく、安全なお食事をしていただけるよう、さまざまな取り組みをしております。どれだけ良質な素材を仕入れても、お客様の口に運ばれるまでに安全性が損なわれたり、鮮度が落ちるとムダになります。当社は衛生管理部による日々の安全性のチェックに加え、従業員が商品に直接手で触れないオペレーションを確立しております。また、出来立ての商品をすばやく提供できる「オーダーレーン」、当社で特許取得済の、菌やウイルスから商品を守り、鮮度を保つ寿司キャップ「鮮度くん」などを活用し、お客様に安心・安全にお食事いただけるよう「見えないところを大切に」商品提供しております。

当第3四半期連結累計期間におきましても、お客様の満足度を高めるべくさまざまな商品提案を行いました。

6月には新たな夏の中華シリーズとして「四川風蒸し鶏(税抜200円)」、「コク旨冷やし担々麺(税抜370円)」を新発売いたしました。練りごまと肉味噌を使用したピリ辛タレが冷たい麺にぴったりとご好評をいただいております。

販売促進面では、人気寿司ネタの「ふぐ」、「かに」、「熟成まぐろ」の極上ネタをご提供するフェアを毎月実施いたしました。5月の「極上ふぐフェア」におきましては、「とらふぐ(税抜200円)」、「ふぐのから揚げ(税抜200円)」を発売し、お客様にご好評をいただきました。また、フェアに合わせて人気アニメ「銀魂」とタイアップし、「オリジナルクリアファイル」などグッズが当たるキャンペーンを実施致しました。

店舗開発につきましては、西日本地区で10店舗、東日本地区で4店舗の計14店舗を新規出店し、移転のため1店舗閉店した結果、国内店舗数は398店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗を含む)となりました。

米国子会社「Kula Sushi USA, Inc.」におきましては、5月にテキサス州中心部に位置する州都オースティン市に、米国12番目、テキサス州3番目となる「オースティン店」をオープンいたしました。米大手メディアに取り上げられるなどオープン以来好調に推移しております。

台湾子会社「台湾國際藏壽司股份有限公司」におきましては、当第3四半期連結累計期間末8店舗を運営しております。5月にロードサイド店として2店舗目の「台中中清路店」を、6月には台北市の台北駅前にグローバル旗艦店「台北館前店」をオープンいたしました。「台北館前店」は台北駅から約150mの距離にあり、広さは900㎡以上、客席数は240席と日米台のくら寿司店舗の中で世界最大規模の店舗となっています。今後のアジア展開をにらみアジア旗艦店として情報発信してまいります。

これにより、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、全て直営で418店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国12店舗、台湾8店舗を含む)となりました。

当第3四半期連結累計期間におきましても積極的な投資を継続いたしました。天然魚加工を目的とした「貝塚センター」にかかる投資や、店舗の改装を促進するなど競争力強化のための投資を行いました。今後も引き続き良好な財務内容を背景として、快適な飲食環境を提供するため、国内外におきまして戦略的な投資を実行してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は910億76百万円、経常利益49億73百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億43百万円となりました。

なお、当社グループは飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、511億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して46億64百万円の増加となりました。これは、主に流動資産の現金及び預金が15億82百万円、有形固定資産が28億円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して16億89百万円増加し、180億8百万円となりました。これは、主に買掛金が8億28百万円、未払金が5億52百万円、流動負債のその他が2億19百万円、長期リース債務が4億71百万円、それぞれ増加した一方で、未払法人税等が8億4百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が28億21百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して29億75百万円増加し、331億82百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月12日に公表いたしました業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,293,320	11,875,977
売掛金	—	887,187
原材料及び貯蔵品	629,152	865,705
その他	1,124,692	1,171,397
流動資産合計	12,047,165	14,800,267
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,228,974	16,600,077
その他(純額)	8,596,086	10,025,047
有形固定資産合計	23,825,061	26,625,125
無形固定資産	378,005	357,455
投資その他の資産		
長期貸付金	3,678,545	3,770,465
差入保証金	4,184,376	4,312,607
その他	2,413,588	1,325,544
投資その他の資産合計	10,276,511	9,408,617
固定資産合計	34,479,577	36,391,198
資産合計	46,526,743	51,191,466
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,435,600	5,263,982
短期借入金	—	116,523
未払金	3,904,798	4,457,533
未払法人税等	1,412,336	608,084
その他	2,415,965	2,635,551
流動負債合計	12,168,701	13,081,676
固定負債		
リース債務	2,390,321	2,861,870
資産除去債務	1,449,260	1,569,995
その他	311,025	495,231
固定負債合計	4,150,606	4,927,096
負債合計	16,319,308	18,008,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	28,181,058	31,002,601
自己株式	△2,353,421	△2,353,421
株主資本合計	30,167,351	32,988,893
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	40,083	103,786
その他の包括利益累計額合計	40,083	103,786
新株予約権	—	90,013
純資産合計	30,207,434	33,182,692
負債純資産合計	46,526,743	51,191,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
売上高	84,015,646	91,076,014
売上原価	38,591,785	41,908,855
売上総利益	45,423,860	49,167,158
販売費及び一般管理費	40,526,809	44,872,694
営業利益	4,897,051	4,294,464
営業外収益		
受取利息	45,825	46,154
受取手数料	249,156	273,132
為替差益	—	332,637
物販収入	144,811	74,941
雑収入	26,077	36,126
営業外収益合計	465,871	762,992
営業外費用		
支払利息	32,885	39,023
為替差損	196,750	—
物販原価	89,683	35,944
雑損失	21,528	9,067
営業外費用合計	340,847	84,035
経常利益	5,022,074	4,973,422
特別損失		
固定資産除却損	36,527	44,697
店舗閉鎖損失	41,952	—
減損損失	15,796	12,973
特別損失合計	94,276	57,671
税金等調整前四半期純利益	4,927,797	4,915,750
法人税、住民税及び事業税	1,647,317	1,498,775
法人税等調整額	83,202	73,509
法人税等合計	1,730,520	1,572,285
四半期純利益	3,197,277	3,343,465
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,197,277	3,343,465

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益	3,197,277	3,343,465
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△84,680	174,100
その他の包括利益合計	△84,680	174,100
四半期包括利益	3,112,597	3,517,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,112,597	3,517,565
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、台湾國際藏壽司股份有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。